

「農業体験アルバイト」×「免許合宿」で 労働力不足解消と都市農村交流の一石二鳥！

厚沢部農楽会^{のうらくかい}(厚沢部町)



【組織等の概要】

- 厚沢部農楽会：平成27年4月、農家を中心に設立した任意団体
加盟人数13名(うち、農家11戸)(R7)
- 代 表 者：斉藤 克也
- 主な活動内容：収穫作業期の農業者と免許合宿参加者との
マッチング

◇【取組の経緯と概要】

- ◆ 収穫期に人手不足が深刻な農業者と、夏休み期間中に免許を取得したい学生等のマッチング。
- ◆ 平成27年、町内の自動車学校と連携し、農作業のアルバイト代を教習費用に充てられる「0円免許合宿(普通二輪、大型特殊等)」を開始。合宿所は旧保育所を活用。
- ◆ 平成28年から、北海道猟友会江差支部と連携し、「狩猟免許合宿」を開始。
- ◆ 農業者は収穫期の労働力を確保でき、免許合宿参加者は免許取得費用を抑えることができる。
- ◆ 合宿期間は7月下旬から9月末まで。農作業アルバイトは任意の日数。
- ◆ 作業内容は主に、とうもろこし、かぼちゃ、キャベツ、馬鈴しょ等の収穫と選別。

【取り組む際に生じた課題と対応方法】

- ボランティアによる運営であり、活動継続のため参加人数の確保が必要。
⇒ 学生等向けの動画発信やwebでの募集といった広報活動の他、参加者へのアンケートを実施し、取組内容の見直しをすることで満足度の向上を図る。
- 学生を労働力として期待する農業者と、農業を特別な体験の場として期待する学生の意識のギャップ
⇒ 農業者に対して、学生は単なる労働力ではなく、厚沢部町の関係人口となり得る人材であるとの認識を持ってもらうことが必要。

【取組の成果】

- 当初は道内の学生をターゲットにしていたが、現在は道外の学生や社会人など、幅広い層が参加。
- 過去の参加者が数年後に他の免許取得のために再度参加したり、合宿とは別に個人で農業者の手伝いに来たりするなど、関係人口の創出につながっている。

	0円免許合宿 (H27～R6)	狩猟免許合宿 (H28～R6)
延べ参加者数	40名	79名

【今後の展望】

- 本取組は「厚沢部町への入り口(知るきっかけ・体験のきっかけ)」となっており、今後も労働力不足の解消と関係人口の創出につながることを期待。

